

(案)

令和 6 年 月 日

鳥取市長 深澤義彦様

鳥取市環境審議会
会長 吉永郁生

第 3 期鳥取市環境基本計画の改訂について (答申)

令和 5 年 8 月 24 日付発市生第 481 号で諮問を受けた第 3 期鳥取市環境基本計画の改訂について、本審議会では慎重に審議した結果、次のとおり結論を得たので答申します。

記

1 温室効果ガス排出量の推計結果について

直近年度（2019 年度）の数値を反映したものに修正する。

(1) 理 由

第 3 期鳥取市環境基本計画は、2021 年 3 月に策定したものであり、当計画に掲載している温室効果ガス排出量は当時の直近年度である 2016 年度までの数値や係数を用いて将来推計を行っていた。その後、現在に至る中で、電気事業者の排出係数が当時想定していた以上に改善されていること等から、実情に即した温室効果ガス排出量の将来推計とするため、現在の直近年度である 2019 年度までの数値を用いて算出した将来推計に修正することが適当であると考えている。

2 再生可能エネルギー導入目標について

2050 年における本市の再エネ導入目標を 1,130GWh とする。

(1) 理 由

2030 年度におけるエネルギー需給の見通し（令和 3 年 資源エネルギー庁）に記載された日本全体の 2030 年度における再エネ電源構成の見通しを 2030 年度における本市の再エネ導入目標として準用することとし、この導入ペースを 2050 年まで継続するものとして算定することにより、2050 年における本市の再エネ導入目標を 1,130GWh と設定することが適当であると考えている。

3 温室効果ガス削減目標値の修正について

2050年ゼロカーボンシティの実現に向けて、2030年度における温室効果ガス削減目標値（2013年度比）を、第3期鳥取市環境基本計画に記載した数値（35%）からシナリオで想定する取り組み内容を踏まえた数値（46%）に修正する。

（1）理由

上記1・2に加え、令和5年3月に策定した「鳥取市脱炭素ロードマップ」に定めた脱炭素シナリオに基づく脱炭素施策に取り組んでいくことで、第3期鳥取市環境基本計画に定めた温室効果ガス削減のための施策をより具体的なものとして強力に取り組むことが可能となる。これに基づいて温室効果ガス削減目標値をあらためて算定した結果、令和3年3月に定めた第3期鳥取市環境基本計画に記載する削減目標値（35%）を上回る削減目標値（46%）が見込まれることから、目標値の修正を行うことが適当であると考えます。

審 議 経 過

区 分	日 時・場 所	審 議 内 容
5年度 第2回	令和5年8月24日 13時30分～15時00分 鳥取市役所本庁舎 6階第4会議室	[諮問] 第3期鳥取市環境基本計画の改訂について (1) 脱炭素ロードマップに基づく温室効果ガス排出量削減目標の見直し
5年度 第3回	令和5年11月7日 13時30分～15時00分 鳥取市役所本庁舎 6階第5会議室	[諮問事項協議] 第3期鳥取市環境基本計画の改訂について
5年度 第4回	令和6年2月20日 13時30分～15時00分 鳥取市役所市民交流棟 2階多目的室1	[答申案審議] 第3期鳥取市環境基本計画の改訂について